

会 議 録

会議名 (審議会等名)		平成28年度第3回相模原市立図書館協議会				
事務局 (担当課)		相模原市立図書館 電話：042-754-3604(直通)				
開催日時		平成29年3月3日(金曜日)午前10時～正午				
開催場所		視聴覚ライブラリー 視聴覚室(相模原市立図書館2階)				
出席者	委員	9人(別紙のとおり)				
	その他	なし				
	事務局	7人(相模大野図書館長、橋本図書館長、他5人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		<p>1 議 題</p> <p>(1) 平成27年度図書館事業評価について</p> <p>(2) 平成29年度の予定について</p> <p>2 その他</p>				

審 議 経 過

議題ごとに事務局から資料に基づき説明をし、質疑応答を行った。その主な内容は次のとおり。(は委員の発言、 は事務局の発言)

1 議 題

(1) 平成 2 7 年度図書館事業評価について

平成 2 7 年度図書館事業評価に挙げられている課題は、今後どのように扱う予定か。

平成 2 9 年度以降に検討していく。

蔵書構築に係る予算の確保はできているのか。

翌年からの反映は難しい。蔵書構成も含め、図書館基本計画に代わる計画に予算を反映させる事業と、予算を反映させなくても職員の企画により実施できる事業と分けて検討していきたい。

蔵書構築の中で、図書と雑誌の割合を変える予定があるのか。また、その割合の中に電子図書は含まれているのか。

図書と雑誌の割合については、これまでの協議会の中でも意見をいただいているため、考慮していく意味で記載している。なお、電子図書については含んでいないため修正したい。

集約された意見はスローガンになりやすい。裏付けとなっている意見を大切にしてもらいたい。

協議会の中で課題に対する事業を具体的に考えていくことはできるのか。説明を聞くだけではなく、実施前の段階で関わるとよい。

平成 2 9 年度に検討ができる事業については、次回の協議会の中で審議していただく。

課題の中には人員の確保が必要な取り組みもあると思われるが、実情はどうか。

平成 3 2 年に策定される本市の新しい総合計画に基づき、図書館でも計画を策定することになる。人員的な課題については、その計画の中に反映させていきたい。

予算に係わるが、公共施設は、誰が来ても快適に過ごすことができる空間作りに努めてほしい。

学校が利用している図書館の団体貸出制度は、こどもセンターでも利用することができるのか。

実施している。さらに、保育園や読み聞かせサークルの人たちにも利用いただいている。

窓口業務に携わる委託事業者のスタッフに対する専門性のサポートはどのよ

うにしているのか。また、図書館サービスを支えているボランティアへの配慮をしてほしい。

図書館では年1回の部内研修を実施しており、委託事業者には業務の支障がない範囲で参加していただけるように声をかけている。また、神奈川県立図書館や神奈川県図書館協会が主催している研修についても、研修内容に関係のある委託事業者のスタッフには参加いただいている。さらに、3館の各担当者が定期的に行う会議についても、情報共有を行うためオブザーバとして担当の委託事業者スタッフには同席いただいている。

子どもたちの利用を増やすために、学校で読み聞かせを行うボランティアの意見を伺う場があるとよい。

相模大野図書館と橋本図書館では読み聞かせボランティアの情報交換会を実施しているが市立図書館では未実施のため検討したい。

子どもたちの読解力の向上に読み聞かせは効果があると言われているが、活動に関わるボランティアの確保はどうなっているのか。組織としてボランティアを維持する方が全体的な底上げに繋がるのではないかと。

現在活動されているボランティアの多くは、自らグループを作り活動をされている。橋本図書館と相模大野図書館の読み聞かせボランティアは図書館が開催した講座の参加者でグループを作っている。

小学校では、PTAが主体となり読み聞かせを始めている。自分の子どもが大きくなってもボランティアを続けており、新たに入学された子どもの親が読み聞かせの一員に加わっている。

図書館は小学校で活動しているボランティアの把握をしていない。学校も含め、市内で活動する読み聞かせのボランティアの把握と、ボランティアに対する研修会を図書館側で実施してほしい。

学校の図書室にある本を修繕しているボランティアもいる。ぜひ、本の修繕に関する研修も合わせて実施してもらいたい。

小学校では、朝読書の習慣が全国的に広まってきた。しかし、平成30年度から英語の授業を前倒して実施することになるため、朝読書は今後縮小する可能性がある。

また、子どもがゲームよりも読書の楽しみを知るためには、入学前の家庭教育が大切だと考えている。

長期休暇に各館が大きなおはなし会を開催しているが、同日に開催するのはなぜか。

各館が活動をされているボランティアと調整をした上で開催日を決めている。今回は偶然同日となった。来年度は改善したい。

「レファレンス」や「リテラシー」などの言葉は分かりにくい。もう少しアピ

ールすることで一般の来館者は増えるのではないか。

図書館は正しい情報を得るための場である。図書館は本を借りる場所ではなく、本来の知の殿堂としての役割を担ってほしい。

また、子どもに関する指標は、図書館の一部の機能であるにもかかわらず、内容の分かりやすさから議論が集中してしまうので、図書館の本質を議論するためにも、子どもに関しては個別にしたほうがよい。

図書館が行うサービスを市民へ届けるSNSは各館評価では触れられていたが、全体評価にも反映できるとよい。

(2) 平成29年度の予定について

現時点で予算は確定していないが、新年度に改めて説明があるのか。

平成29年度の事業予定と併せて説明させていただく。

平成29年度の図書館協議会の予算が減額となったため、例年3回開催していた本協議会を、年2回開催に変更したい。また変更に伴い、より効率的な運営を行うため、開催時期や時間について改めて各委員の意見を伺いたい。

事務局で事前調整をしていただき、それに従って委員は都合を合わせるという従来方式でお願いしたい。

2 その他

平成28年度暮らし潤いさがみはら寄附金からの図書館への寄附金総額は28,189円となった。

また、平塚信用金庫から10万円相当の児童書の寄贈をいただき、市内在住の写真家 松橋利光様からは自身の著作を52タイトル、74冊の寄贈をいただいた。

資料3-1～3のとおり各館より事業報告をした。

以 上

相模原市立図書館協議会委員出欠席名簿

	役 職	氏 名	所 属 等	出欠席
1	会 長	鈴 木 良 雄	専門図書館協議会中央事務局	出 席
2	副 会 長	高 柳 眞木子	みらい子育てネットさがみはら 連絡協議会	出 席
3	委 員	小 野 充	相模原市立中学校長会	欠 席
4	”	二ノ宮 比呂志	相模原市立小学校長会	出 席
5	”	山 内 靖 弘	相模原市公民館連絡協議会	出 席
6	”	大 橋 千 景	相模原市社会教育委員会議	出 席
7	”	古 田 政 子	子育て親育ち応援団 with.cfc	出 席
8	”	村 上 賢	麻布大学	出 席
9	”	齋 藤 祐 子	公募	出 席
10	”	渡 邊 健 一	公募	出 席